

大洗町消防本部庁舎改築工事基本構想（案）に対する意見募集結果

- 1 意見募集期間令和4年12月15日（水）～令和5年1月31（火）
- 2 閲覧場所
 - ・大洗町消防本部消防総務課及び大洗町ホームページ
 - ・消防本部での閲覧時間：8時30分から17時15分まで（土・日・祝日・年末年始を除く）
- 3 寄せられた意見数
 - ・意見提出者数 5 人
 - ・意見数 5 件

番号	応募日	ご意見の内容（概要）	町の考え方
1	12月10日	<p>庁舎の移転計画とのことですが、施設の老朽化など、色々な理由があると思われませんが、移転するのであれば、『JAEA 旧夏海寮跡地』『旧大貫小跡地』『大貫台』『防災ふれあい公園』の順での希望を提出します。</p> <p>理由といたしましては、町の地理的中心地にほど近い順、または、旧来の施設跡の活用を重視してのこととなります。現状の庁舎位置ですと、磯浜町、大貫町への出勤は迅速に行えませんが、こと神山町、夏海地区あたりで火災や災害が発生した場合、庁舎から距離があるため、多少の到着遅れが否めないのではないかと懸念もあります。</p> <p>近隣住民の騒音対策につきましては、然るべき対策を、とは思いますが、なにぶん小さな町です。完全な防音対策は難しいでしょう。そこは近隣住民の十分な理解を得るための繰り返しの説明が必要になるかと思われます。</p>	<p>移転候補地の評価につきましては、様々な視点で評価を行い、評価項目の一つとして『町内各地へ公平かつ速やかに到着できる場所であること』という評価も行っております。この評価では、ご指摘のとおり、『JAEA 旧夏海寮跡地』『旧大貫小跡地』『大貫台』が、町の地理的中心地に近く、それぞれ、町内各地へ大きな偏りがなく到着できるものと考えております。この評価に加え、敷地に関する評価や庁舎建設以外にかかる費用の評価、近隣住民の皆様への影響に関する評価など、総合的な評価を行った結果、『大貫台』が最も高い評価を得ています。</p> <p>騒音の問題については、近隣住民の皆様への丁寧な説明とできるだけ配慮を行ってまいります。</p>

番号	応募日	ご意見の内容（概要）	町の考え方
2	12月15日	<p>先日の住民説明会に参加して、現在の消防本部庁舎の状況をお聞きし、庁舎の移転は、大洗町民の十分な安全・安心のために不可欠であると考えます。</p> <p>そして、ご説明のあった4箇所の移転候補地につきましては、私なりに様々な状況を想定して検討いたしましたが、やはり評価結果のとおり、大貫台が最適地ではないかと思えます。</p>	<p>敷地に関する評価や地理的な評価、庁舎建設以外にかかる費用の評価、近隣住民の皆様への影響に関する評価など、総合的な評価の結果、大貫台が最も高い評価を得ています。</p>

番号	応募日	ご意見の内容（概要）	町の考え方
3	1月4日	<p>◆消防本部庁舎を移転することによる町民視点でのメリットやデメリットを町民全員が理解し納得できる説明資料を作成して頂きたいです。</p> <p>現在の消防本部庁舎の課題以外に現在の消防本部庁舎での町民視点でのメリットは無いのでしょうか。移転先での町民視点でのメリットやデメリットは無いのでしょうか。この基本構想（案）には町民の意見が入っているようには見えませんでした。移転について特に気になるのは「大洗町特有の水難事故、原子力施設における火災などにも適切な対応ができる場所であるか」「災害対策本部を町役場に設置した場合、町役場と消防本部庁舎が離れていても問題ないか」です。現在の消防本部の場所だからこそそのメリットがあると思いますので、そのメリットに対して移転先でどのように対応するのも教えて頂きたいです。</p> <p>◆上記の資料について町民と意見交換出来る場を地区毎に開催して頂きたいです。</p> <p>ホームページで掲示しても見ることが出来ない方、消防本部に行くことが出来ない方も多と思います。町民が直接聞いて意見を言える場（歩いて集まれる場所）が必要と思います。場を作っても説明資料がわかりにくいと参加者は集まらないかもしれませんので、まずは町民が理解できる資料の配布（町内会への回覧など）をお願いしたいです。</p> <p>◆本件は「災害に強い安心・安全なまち」として検討いただいた提案内容の一つだと思いますので、大洗町を「災害に強い安心・安全なまち」にするための今後の計画と実績（成果）を開示するなどの町民全員が一体となって取り組めるように定期的に意見交換して頂きたいです。</p>	<p>消防本部庁舎が現在地にあるメリット</p> <p>①磯浜地区に立地しているため、人口密集地（緊急出動の需要の高い地域）への緊急車両の到着が早い。</p> <p>②一部の事業者の方々にとっては、危険物、防火管理、建築等に関する届出等が市街地にあるため便利である。</p> <p>消防本部が現在地にあり続けた場合のデメリット</p> <p>①庁舎、敷地共に狭隘なため、特に、救助、消火活動等に迅速に対応するための新たな特殊車両や設備・資機材の導入ができない。</p> <p>例：救助活動を迅速かつ、効率的に行うために、本来保有していなければならない救助工作車が、車庫の狭隘化により駐車できない等の理由で、配備できていない（救助工作車が配備されていないのは、関東甲信越の173消防本部のなかで、三宅島などの島しょ部を加えても4消防本部だけです）。</p> <p>②仮眠室の狭隘化のため、仮眠室内での感染症拡大が懸念され、署員間で感染が広がれば、消防本部機能が維持できなくなるおそれがある。</p> <p>③敷地が狭く、訓練施設も整っていないため、各種訓練が十分にできず、署員個々の能力向上が見込めず、今後の災害対応に支障をきたすおそれがある。</p> <p>④東日本大震災を超える津波の襲来を受ければ、車両や資機材の浸水などにより、発災直後の救急、救助、火災に対応することが困難となるおそれがある。</p> <p>などが考えられ、これらのメリット・デメリットを整理した結果、現在地では、庁舎を拡張する敷地がなく、今後、大洗町で発生する大小様々な災害への対応に大きな支障をきたす可能性が高いため、移転改築して、庁舎を拡張し、救助工作車等の新たな特殊車両の配備や、実践的な訓練施設の整備による署員個々の能力向上など、総合的な消防力を強化することが、町民の皆様の安心感を高めるために必要であると考えています。</p>

「災害に強い安心・安全なまち」として、「優先順位」や「費用対効果」を考えて、今何をすべきか、将来（5年後・10年後）何をすべきか、何を止めるか（断捨離）を考えて取り組んで頂きたいです。

「大洗町特有の水難事故、原子力施設における火災などにも適切な対応ができる場所であるか」に関しては、場所に関する課題ではなく、消防本部庁舎及び敷地の狭隘化による課題と考えております。現庁舎では、庁舎・敷地ともに狭隘で、水難救助、原子力災害に備えるための特殊車両の配備や、必要な資機材を配備・保管するための場所がないため、最新の機材等を使った効率的な活動ができず、ひいては、救助・救出までの時間が遅れ、救える命が救えなくなってしまいます。このことから、十分な敷地を有する場所へ移転し、救助工作車等、新たな特殊車両と資機材等の導入や、実践的な訓練施設の整備により、署員個々の能力を向上させ、総合的な消防力を強化していくことが必要であると考えております。

「災害対策本部を町役場に設置した場合、町役場と消防本部庁舎が離れていても問題ないか」に関しては、通常の災害では、役場と消防本部をインターネット回線をつないだWEB会議が可能です。また、消防本部、役場双方でIP無線機や、衛星電話を保有しており、インターネット回線等が使用できない場合の通信手段を複数確保しております。さらに、必要があれば、消防本部から人員を派遣するなどすれば、十分対応が可能であると考えております。

さらに、消防本部庁舎が高台移転することで、万が一役場庁舎が被災した場合でも、災害時のバックアップとして、消防本部庁舎に町の災害対策本部機能を移すことも検討しています。

まずは、町民の皆様の視点でのわかりやすい資料を再度作成し、あらためて、広報を行ったうえで、要望があれば、地区ごとに丁寧な説明をしていきたいと考えております。

番号	応募日	ご意見の内容（概要）	町の考え方
4	1月16日	<p>まず、現消防本部庁舎で津波他、理由は分かりませんが、そのままが良いのではないかと感じ思います。それと、候補地では④と思いましたが、案外、磯浜町の②が良いのではないのでしょうかと思います。昔から同地に本部があるのですから。</p>	<p>前段の3番目のご意見に対しての町の考え方で「消防本部が現在地にあり続けた場合のデメリット」として、①から④でお示した事項に加え、消防本部庁舎が現在地にあることは、東日本大震災を超える津波が襲来した場合に、役場庁舎と同時に被災し、町の災害対応に支障をきたすおそれがあります。</p> <p>これらのメリット・デメリットを整理した結果、現在地では、庁舎を拡張する敷地がなく、今後、大洗町で発生する大小様々な災害への対応に大きな支障をきたす可能性が高く、町の安心安全を今後も担保するためには、消防本部庁舎を移転改築して、庁舎を拡張し、新たな特殊車両や資機材の導入、実践的な訓練施設を整備することによる署員個々の能力向上など、総合的な消防力の強化を図っていくことが必要であると考えています。</p> <p>また、候補地④旧大貫小跡地については、防災ヘリなど、他機関からの応援を受入れる敷地がないこと、住宅密集地に近く、周辺住民のみなさまに、騒音によるご迷惑をおかけすること、浸水想定区域に近いことなどが懸念されます。</p> <p>候補地②防災ふれあい公園については、町の地理的中心地から離れており、夏海・松川地区への緊急車両の到着が遅れること、住宅密集地に近く、周辺住民のみなさまに、騒音によるご迷惑をおかけすること、前面道路が狭隘で、お盆時期などに渋滞が起りやすいことなどが懸念されます。</p> <p>4つの候補地については、それぞれ、メリット・デメリットを評価した結果、大貫台が最も高い評価となっています。</p>

番号	応募日	ご意見の内容（概要）	町の考え方
5	1月25日	<p>大洗町消防本部改築工事基本構想（案）に対する意見。第1、反対である。私は標記構想を読んでいないが、大洗町消防本部を他所に移転し新しく庁舎を新設すると現在の役場庁舎と離れ不便になること。大洗町消防本部の現在の庁舎は東日本大震災の時に被災し、その時に手を入れてからまだ十年くらいしか経っていないこと。大洗町の財政は、大洗町消防本部の増改築をするほど豊かでないことの3つの理由から反対する。</p>	<p>役場庁舎と消防本部庁舎が離れることによる連携体制については、インターネット回線を使い、WEB会議も可能です。また、消防本部、役場双方でIP無線機や、衛星電話を保有しており、インターネット回線等が使用できない場合の通信手段を複数確保しております。また、必要に応じて、消防本部から人員を派遣することも可能であり、どの候補地に移転した場合でも、消防本部から役場まで、数分で到着することができます。</p> <p>また、消防本部庁舎に直接来庁される方々の多くは、危険物、防火管理、建築等に関する届出等を行う一部の事業者に限られており、これらの届出は、そのほとんどが、消防本部内で完結できるものですので、役場庁舎と離れていても、直接的に町民のみなさまに影響がでることは、少ないものと考えております。</p> <p>しかし、消防本部が移転することで、今までよりも、消防本部が遠くなり、不安に思われる方がいらっしゃることも承知しております。</p> <p>このことにつきましては、移転・改築して、消防本部庁舎を今より拡張し、また、実践的な訓練施設等を整備することで、救助工作車等、新たな特殊車両と資機材の導入や、署員個々の能力を向上させるなど、総合的な消防力の強化につなげ、今までよりも救助や消火活動の活動時間短縮を図ることができるものと考えております。</p> <p>平成26年に消防本部庁舎の増築、改修工事を行いました。限られた敷地面積での増築であったため、その後の職員増員や、本来、消防本部として、保有していなければならない救助工作車等の配備に対応できず、今後の消防本部に求められるさらなる機能強化に支障をきたすこととなります。</p> <p>町民のみなさまの生命財産を守るという使命を果たすためには、あらゆる災害の想定区域外の一定の面積を有する場所へ移転し、消防本部としての総合</p>

的な機能強化が必要であると考えております。

消防本部庁舎改築の事業費につきましては、町の財政状況から判断し、将来負担が過重とならないことを前提として、計画的に進めて参ります。